

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成20年10月16日 (2008.10.16)

【公開番号】特開2008-39210(P2008-39210A)

【公開日】平成20年2月21日 (2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2006-210583(P2006-210583)

【国際特許分類】

F 2 4 C 15/34 (2006.01)

F 2 4 C 7/02 (2006.01)

F 2 4 C 1/00 (2006.01)

【F I】

F 2 4 C 15/34 A

F 2 4 C 7/02 H

F 2 4 C 1/00 3 2 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月3日 (2008.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被加熱物が設置される加熱室と、着脱自在の水タンクと、前記水タンクから給水して蒸気を発生する蒸気発生部とを備え、前記蒸気発生部で発生した蒸気を用いて被加熱物を調理する加熱調理器において、前記加熱室と前記水タンクとの間に設けられる断熱材と、前記断熱材と前記水タンクとの間に設けられるとともに空気を滞留して断熱する空気断熱層と、前記水タンクの前記空気断熱層側とは異なる側に設けられるとともに空気が流通できる空気流通層とを備えたことを特徴とする加熱調理器。

【請求項 2】

前記加熱室の天井面から蒸気を噴出するとともに、前記加熱室の側壁の下部に対向して前記水タンクを配置したことを特徴とする請求項 1 に記載の加熱調理器。

【請求項 3】

高周波を前記加熱室に供給して高周波加熱を行う高周波発生装置を前記加熱室に対して前記水タンクと同じ側に配置したことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の加熱調理器。

。